

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2313 号

Outcome of infants presenting rectal bleeding: A retrospective study in a single institution

(新生児期および乳児期における下部消化管出血の解析: 単一施設における後ろ向き検討)

森 真理 (もり まり)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、日常診療において、しばしば遭遇する新生児期・乳児期に起こる下部消化管出血の病態を明らかにすることを目的として行われた研究について記載している。

新生児期・乳児期に下部消化管出血を来し、外科疾患・出血性疾患を否定され、アレルギーの関与が疑われ入院加療を行った児を対象に、その臨床像と発症後の経過を検討している。また下部消化管内視鏡検査で得られた S 状結腸の生検組織を用いて免疫染色を行い、シグナル伝達分子の発現を microarray 法にて検討し、発現の増強を認めた CXCL13 および CCL11 (eotaxin-1) の発現を RT-PCR 法を用い確認している。

その結果、コントロールに比べて、患者群においてはリンパ球活性化因子である IL-6、好酸球誘導因子である CCL11 とリンパ濾胞形成因子である CXCL13 などの発現が強く、乳児期後期に起こるアレルギーが IgE 依存性の反応であることとは異なり、細胞性免疫反応の関与が示唆された。

一方、1 歳までの追跡調査では、牛乳アレルギーを認めたものは 1 例にとどまり、本病態が、必ずしもアレルギー反応によるものではない可能性を示唆しており、非常に興味深い検討である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものとする。